



# モデル指導案 1.「人間関係編」



時配	学習活動と内容(○)	指導上、留意する点(●)	資料など(★)
5 min	<b>1.ケータイって何?</b> ○子どもたちのケータイ利用について質問に答える。 ・ケータイ所持について ・メールについて	●今日の授業はケータイに関する内容を扱うことを予告する。 ●<質問内容> ①携帯電話をかけたことがあるか。 ②携帯メールを知っているか。 ③携帯メールをしたことがあるか。	★PC ★プロジェクト ★スクリーン ★スピーカー ★マイク
15 min	<b>2.ビデオを見て考えよう!</b> ○メールの利点について考える ・気軽に連絡が取り合える。 ○映像教材『メールと依存症』を視聴する。 ○主人公の問題点を考え、ワークシートに記入する。	●携帯メールをしたことがあると答えた生徒を中心に、メールの利点を引き出すようにする。 ●映像はメール使用に関する内容であることを予告し、メール使用の問題点について考えながら視聴するよう促す。 ●問題点として指摘した内容については理由まで考えさせるようにする。	★映像教材 NHK「ケータイ社会の落とし穴」第1話 「メールと依存症」 ★ワークシート
15 min	<b>3.主人公の問題点を話し合おう!</b> ○グループになり、主人公の問題点について話し合い、意見を発表する。 ○板書をもとに、問題点を整理する。 ・勉強に集中できない ・メールをしながら歩行すると危険 ・つながらないと不安 ・返事に振り回される	●グループで話し合った問題点をワークシートに書かせるようにする。 ●発表し終わったところで、問題点について整理する。 ●問題点をそのままにして続けているとどうなるかを考えさせる。	★ワークシート ★黒板 ★チョーク 
5 min	<b>4.主人公にアドバイスしよう!</b> ○整理した問題点についてグループごとに主人公に対してよいアドバイスを考え、発表する。	●アドバイスが適切かどうかを考えさせる。	 <p>右ページの発表例を参考にしてみてください</p>

時配	学習活動と内容(○)	指導上、留意する点(●)	資料など(★)
10 min	<b>5.ケータイとの付き合い方について考えよう</b> ○ケータイでのメール送受信の仕組みについて説明する。 ○ケータイでのコミュニケーショントラブルに関する最新情報を伝える。 ○振り返りカードを書く。	●教材を用いて、どのようにしてメールが送ったり送られたりするかを図解した資料を用いて、分かりやすく説明する。 ●コミュニケーションに関するトラブルの最新情報を取り上げる。 ●これからの自分のケータイとの付き合い方を客観的に考えさせる。	★メール送受信の仕組み ★サイトからの情報 ★ワークシート
ワークシート、「メール送受信の仕組み」教材、トラブルに関する最新情報については、「考えよう、ケータイ」ホームページ( <a href="http://ace-npo.org/info/sbm/">http://ace-npo.org/info/sbm/</a> )からダウンロードしてご利用下さい。			

## 主人公まやの問題点（生徒の発表例）

- ・食事中にメールをしている
- ・夜遅くまでメールをしている
- ・暗いところでメールをしている
- ・歩きながらメールをしている
- ・家族と会話がなくなっている
- ・ケータイをトイレに持ち込んでいた
- ・勉強するという約束と違う
- ・返信がないだけで不安になりすぎている
- ・いらついている
- ・他のことに集中できなくなっている
- ・ケータイを投げた
- ・本人の許可なしに(入院しているという)情報を回している
- ・ケータイが生活の中心になっている
- ・メールの内容がくだらない など

## 主人公まやへのアドバイス（生徒の発表例）

- ・家族や友達とケータイを使うときのルールを決め、約束を守る
- ・時間を決める
- ・歩きながらメールをしない
- ・食事中にメールをしない
- ・相手の都合を考える
- ・学校でたくさんしゃべる
- ・返事を気長に待つ
- ・会話を大切にす
- ・ケータイを使用するなら勉強などを頑張る など

## 映像教材のあらすじ

主人公のまやは、友達から届くメールにすぐに返さなければいけないと思いついで中学生の女の子。メールの「すぐに届く」利点を「すぐに返事がくる」と思っている。友達のあおいからの返事がなかなか来ないことにいらつくなまやは、食事のときもケータイが手放せなくなる依存症になってしまい、生活のリズムが「ケータイ」中心になってしまう。

